

## ご修理のときは

お買い求めの販売店、またはホームセンターにお申し付けください。  
なお、修理を依頼する販売店やホームセンターがお近くにない場合は、  
弊社 WEB サイトから修理受付けを行っていますのでアクセスしてください。



<https://www.hikoki-powertools.jp/contact/repair/>

### お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておくと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

### お客様相談センター

●フリーダイヤル (9:00 ~ 18:00)

**0120-20-8822** ※携帯電話、IP電話からもご利用いただけます。

## 工機ホールディングス株式会社

〒108-6018 東京都港区港南 2 丁目 15 番 1 号 (品川インターシティ A 棟 18 階)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>

部品コード C99750002 405 G

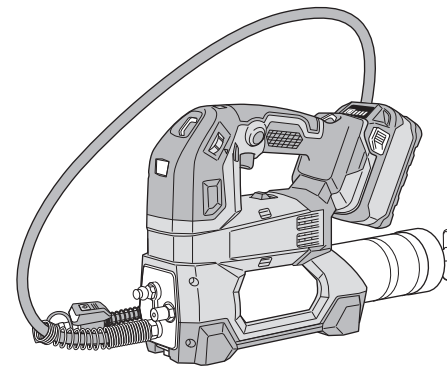
# HIKOKI

## 取扱説明書

### コードレスグリースガン

#### 18 V AL 18DA

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、  
ありがとうございました。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、  
正しく安全にお使いください。  
お読みになった後は、いつでも見られる所に  
大切に保管してご利用ください。



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

### はじめに

コードレス工具の安全上のご注意	1
本製品の使用上のご注意	5
リチウムイオン電池の使用上のご注意	7
各部の名称	9
用途	10
仕様	10
標準付属品	11
別売部品	11

### 使い方

蓄電池の取付け・取りはずし	12
ショルダーベルトの取付け方	12
オフロックボタンについて	13
スイッチについて	13
吐出速度の切り替え	14
吐出量調節ダイヤルについて	14
LED ライトの使い方	15
警告シグナルについて	16
グリースの補充方法	17
機体内の空気の抜き方	21
ロックカブラの使い方	22
グリースを充てんする	23

### その他

保守・点検	25
ご修理のときは	裏表紙

## ⚠警告、⚠注意、注 の意味について

**⚠警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

**⚠注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

**注** : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、**⚠注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

## コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

### ⚠警告

- ① **専用の充電器や蓄電池を使用してください。**  
弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。
- ② **蓄電池の端子間を短絡(ショート)させないでください。**  
釘袋などに入れると、短絡(ショート)して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。
- ③ **蓄電池の内部に、水のような導電性の液体を入れないでください。**  
発熱・発火・破裂などの恐れがあります。
- ④ **作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。**
  - 工具本体や蓄電池は、雨の中や湿った場所で使用・放置・保管をしないでください。感電や発煙の恐れがあります。
  - 作業場は十分に明るくしてください。  
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
  - 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体やガスがある所での使用・充電・保管をしないでください。発火や火災の恐れがあります。
- ⑤ **保護メガネを使用してください。**  
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。  
切削した物や粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。

### ⚠警告

- ⑥ **加工する物をしっかりと固定してください。**  
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。  
固定が不十分な場合は、加工する物が飛んで、けがの原因になります。
- ⑦ **次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り(OFF)、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。**
  - 使用しない、または、準備・調整・保守・点検する場合。
  - 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
  - その他、危険が予想される場合。  
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑧ **不意な始動は避けてください。**  
スイッチに指を掛けて運ばないでください。  
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑨ **指定の付属品や別売部品を使用してください。**  
この取扱説明書、および弊社カタログに記載されている指定の付属品や別売部品を使用してください。事故やけがの原因になります。
- ⑩ **蓄電池を火の中に投入しないでください。**  
破裂して、有害物質が出る恐れがあります。

### ⚠注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**  
散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
  - 作業員以外、コードレス工具に触れさせないでください。けがの原因になります。
  - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
  - 安全の責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
  - 乾燥した場所で、子供の手が届かない所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
  - 工具本体や蓄電池を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所(金属の箱や夏の車内など)に保管しないでください。  
蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

## ⚠️注意

- ④ 無理して使用しないでください。
  - 安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
  - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。
- ⑤ 作業に合ったコードレス工具を使用してください。
  - 大形のコードレス工具で行う作業には、小形のコードレス工具・別売部品を使用しないでください。けがの原因になります。
  - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ きちんとした服装で作業してください。
  - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
  - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。滑りやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
  - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ 無理な姿勢で作業をしないでください。

常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。転倒して、けがの原因になります。
- ⑧ コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。
  - 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。
  - 付属品や先端工具の取付け・取りはずしは、取扱説明書に従ってください。
  - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。
- ⑨ 調整キーやスパナなどは、スイッチを入れる前に取りはずしてください。

調整キーやスパナなどの工具類が、取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは作動時に飛び出して、けがの原因になります。
- ⑩ 油断しないで十分注意して作業をしてください。
  - コードレス工具を使用する場合は、取扱い方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
  - 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
  - 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。
- ⑪ 十分な防じん対策や飛散防止対策をしてください。

特に、人体に有害な成分を加工するときは注意してください。

## ⚠️注意

- ⑫ アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で使用しないでください。

アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発症させる物質です。
- ⑬ 損傷した部品がないか点検してください。
  - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
  - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
  - 破損した保護カバー、その他の部品交換は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
  - スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。
- ⑭ コードレス工具の修理は、専門店で依頼してください。
  - サービスマン以外の方は、工具本体や蓄電池の分解・修理・改造をしないでください。発火や誤作動など、けがの原因になります。
  - コードレス工具が高温になるなど、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
  - この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
  - 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
  - アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で使用したコードレス工具の保守・点検・修理は受けできません。

### ○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

# 本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレスグリースガンについて、次に述べる注意事項を守ってください。

## ⚠ 警告

- ① 作業前にホース、カブラやグリースニップルに傷やゆるみがないか確認してください。
- ② 使用中は、機体をしっかりと保持してください。また、ホースはよじれないようにしてください。
- ③ ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリンなどの引火物のある場所では使用しないでください。
- ④ ロッドやバーハンドルに、手や服装が巻き込まれないようにしてください。
- ⑤ 機体や手に付いたグリースは、すぐふき取ってください。  
滑って落とすなど、けがの原因になります。
- ⑥ 誤って落としたり、衝撃が加わったりしたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。
- ⑦ 使用中、機体が高温になったり、異常音、異常振動がしたりするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
- ⑧ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
  - 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
  - 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
  - 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。  
短絡（ショート）して、発煙・発火の恐れがあります。
- ⑨ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に変形が生じた場合は、使用しないでください。  
短絡（ショート）して、発煙・発火の恐れがあります。

## ⚠ 注意

- ① 付属品や別売部品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
- ② 固いグリースを使用するなど、モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
- ③ ホースやバーハンドルを持って機体を動かしたり、運んだりしないでください。
- ④ 使用前に、ホースの詰まりや損傷がないか確認してください。
- ⑤ ホースに無理な曲げ、引っ張り、圧縮を加えないでください。
- ⑥ グリースは、この取扱説明書で指定された条件を満たす物を使用してください。
- ⑦ グリースの取扱説明書もよく読み、記載内容に従ってください。
- ⑧ 無理な姿勢で作業をしないでください。
- ⑨ 作業用保護手袋を着用してください。
- ⑩ ホースの先を人に向けしないでください。
- ⑪ 作動させたまま、機体を放置しないでください。
- ⑫ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。  
機体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⑬ はしごや踏み台などの不安定な足場で作業しないでください。
- ⑭ 機体で材料をたたき、落下等の強い衝撃を加える、水にぬらすことなどをしてしないでください。  
内蔵している精密部品が破損し、誤作動等をおこす原因になります。
- ⑮ LEDライトをのぞき込んで、直接ライトの光を目に当てないでください。
- ⑯ 持ち運び時の注意
  - 機体のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。
  - 機体はハンドルを持って運んでください。
  - 乗り物で搬送するときは、転倒や損傷を適切に防止してください。
- ⑰ 蓄電池は確実に取付けてください。

## ⚠ 警告マークについて



このマークのある操作・手順では、必ずスイッチを切り（OFF）、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。  
蓄電池を工具本体に装着したまま準備や点検、グリースの補充などをすると、予期できない作動を招いて事故やけがの原因になります。



## リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品はリチウムイオン電池を使用します。リチウムイオン電池には、寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能が付いています。

下記①、②、③の場合、本製品を使用中にモーターが停止することがあります。これは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。  
速やかに充電してください。
- ② 過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。  
スイッチを切り、過負荷の原因を取り除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。  
蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに蓄電池の液漏れ、発熱・発煙・発火を未然に防ぐため、次に述べる注意事項を守ってください。

### ⚠警告

- ① 蓄電池の端子部に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
  - 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
  - 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
  - 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。
- ② 誤って落とすなど、蓄電池の端子部に変形が生じた場合は、使用しないでください。また、外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- ③ 蓄電池に釘を刺す、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ④ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。
- ⑤ 蓄電池を電子レンジや高圧容器に入れるなど、過熱・高圧を与えないでください。
- ⑥ 蓄電池が液漏れしたり、異臭を発したりするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⑦ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- ⑧ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭・発熱・変色・変形、その他異常に気が付いたときは、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店に相談してください。

### ⚠警告

- ⑨ 蓄電池にアルカリ系の潤滑剤や切削液が付着した場合は、速やかに乾いた布でふき取ってください。  
ケースの破損や劣化の原因になります。

### ⚠注意

- ① 蓄電池が液漏れして液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。  
放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ② 蓄電池が液漏れして液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。  
皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。
- ③ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てないでください。
- ④ 蓄電池は子供の手が届かない所に保管してください。
- ⑤ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。

## 蓄電池はリサイクルへ

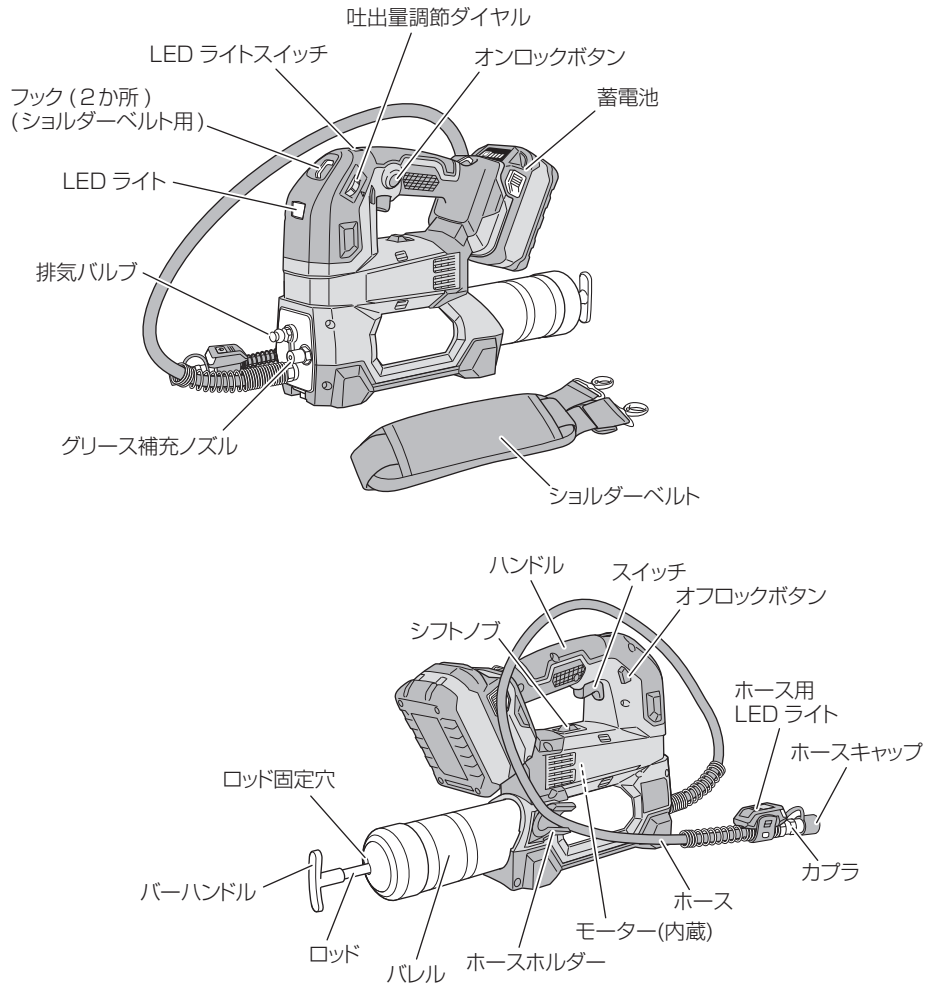
蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池を廃棄する際は、リサイクルにご協力いただき、お買い求めの販売店にご持参ください。



### ○ 蓄電池は、弊社純正品をご使用ください

弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証ができません。

## 各部の名称



## 用途

- 重機などの機体へのグリース充てん

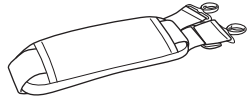
## 仕様

形名	AL 18DA	
モーター	直流モーター	
グリース容量	カートリッジ: 420 mL バルク : 640 mL	
最大吐出圧力	低速	69 MPa
	高速	41 MPa
流量	低速	115 mL/min
	高速	297 mL/min
グリースちょう度	ちょう度番号 0-2号* (NLGI No. 0-2)	
ホース長さ	1,200 mm	
使用可能蓄電池	リチウムイオン電池 <ul style="list-style-type: none"> <li>● マルチボルトタイプ蓄電池</li> <li>● 18 V (BSL18**シリーズ)</li> </ul>	
電池電圧	18 V	
寸法 (全長×全高×全幅)	412×227×110 mm [BSL 36A18X 装着時]	
質量	5.0 kg [BSL 36A18X 装着時]	
LEDライト	白色 LED	
ホース用 LED ライト	白色 LED [使用電池: CR1620 × 2個]	

※ JIS K2220

## 標準付属品

ショルダーベルト



ホース用 LED ライト

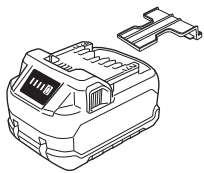


## 別売部品 (別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください。)

詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

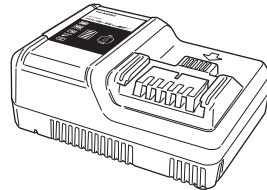
蓄電池

- マルチボルトタイプ蓄電池
- 18 V (BSL 18\*\*シリーズ)



充電器

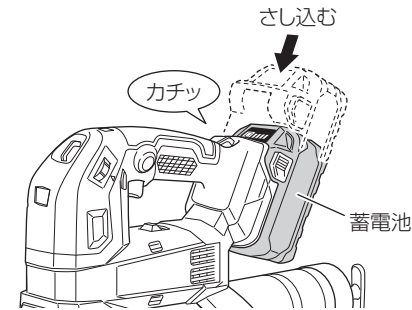
〈14.4 V・18 V・マルチボルトタイプ蓄電池対応〉  
UC 18YDL2 など各種



## 蓄電池の取付け・取りはずし

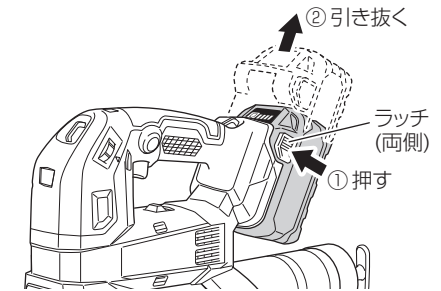
取付けるとき

「カチッ」と音がするまで、確実にさし込んでください。



取りはずすとき

両側のラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。



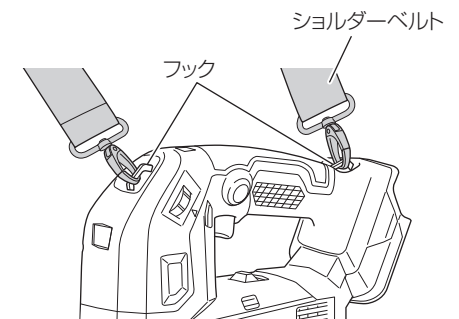
## ショルダーベルトの取付け方

### 警告

- 肩からはずれないように、また機体が不安定にならないように使用してください。
- ショルダーベルトは補助的な支えです。使用中は、ハンドルを持って機体を保持してください。

ショルダーベルトの金具をフック (2か所) に装着し、長さを調節してください

- 注**
- 付属のショルダーベルト以外は使用しないでください。
  - ショルダーベルト用フックは、ほかの用途に使用しないでください。

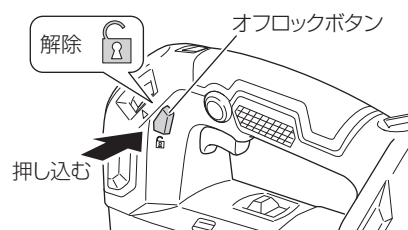
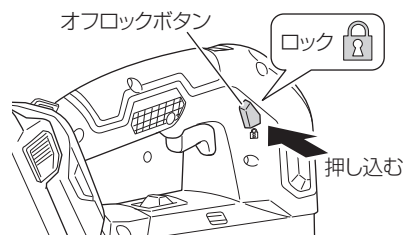


## オフロックボタンについて

誤ってスイッチを引いてもモーターが起動しないように、オフロックボタンが付いています。

オフロックボタンは、しっかりと押し込んでください。

作業の合間や使用しないときは、オフロックボタンをロック状態にしてください。

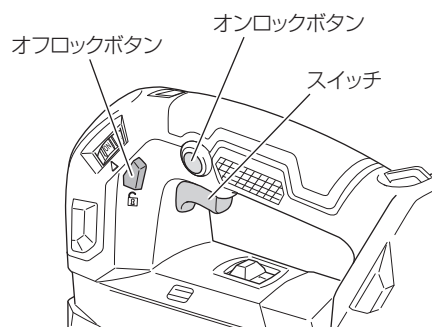


## スイッチについて

オフロックボタンを「解除」側にした状態で、スイッチを引くとモーターが起動し、はなすと停止します。

スイッチを引いてからオンロックボタンを押すと、スイッチをはなしても固定され連続運転になります。

停止させるときは、もう一度スイッチを引いてからはなすと連続運転が解除されます。



**注** スイッチオフ直後にオンにすると、モーターが起動しないことがあります。故障ではありません。

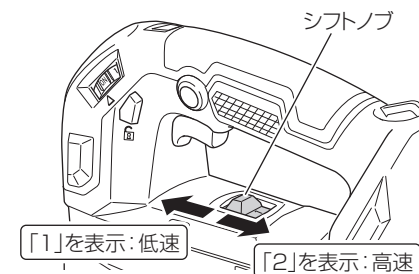
## 吐出速度の切り替え

吐出速度を高速と低速に切り替えることができます。

**注** シフトノブで吐出速度を切り替えるときは、スイッチを切り、モーターが停止していることを確かめてください。

作動中に操作すると、故障の原因になります。

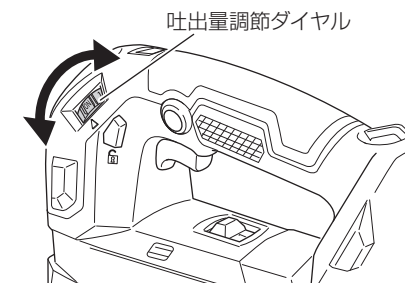
古いグリースをホースから押し出す場合は、常にシフトノブを「2」（高速）にしてください。



## 吐出量調節ダイヤルについて

ダイヤルでグリースの吐出量を調節できます。吐出量を調節しスイッチを引くと、設定量で自動で停止します。自動停止するまで、スイッチを引き続けてください。途中でスイッチをはなすと停止し、吐出量はリセットされます。

吐出量を調節しない連続吐出の場合は、「ON」の位置に設定してください。



### 吐出量（目安）

ダイヤル目盛り		1	2	3	5	8	10	15	20	25
低 速	mL	0.8	1.7	2.4	4.1	6.4	7.9	11.9	15.9	19.8
	(g)	(0.8)	(1.6)	(2.3)	(3.9)	(6.1)	(7.6)	(11.4)	(15.2)	(19.0)
高 速	mL	0.8	1.7	2.5	4.1	6.4	8.0	11.9	16.0	19.9
	(g)	(0.8)	(1.6)	(2.4)	(3.9)	(6.1)	(7.7)	(11.4)	(15.3)	(19.1)

吐出量は、気温やグリースの種類などによって異なりますので目安としてください。

**注** 吐出量調節ダイヤル操作時はスイッチを切り、モーターが停止していることを確かめてください。

作動中に操作すると、事故の原因になります。



## LEDライトの使い方

### 〈LEDライト〉

LEDライトスイッチを押すと、LEDライトが点灯します。

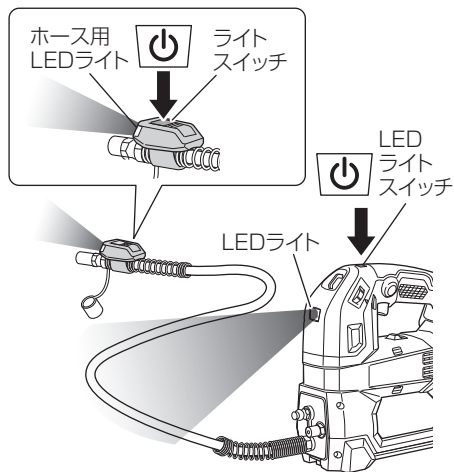
再度スイッチを押すと消灯します。LEDライトは、60秒で自動的に消灯します。

### 〈ホース用LEDライト〉

ストラップを、ホースに巻き付けてフックに留めます。

ライトスイッチを押すと、ホース用LEDライトが15秒間点灯します。

**注** レンズ部に付着したごみは、柔らかい布などでふき取り、傷が付かないようにしてください。



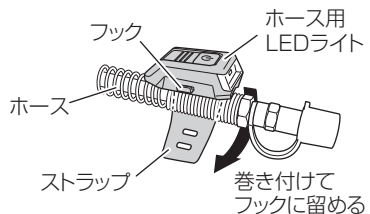
## ●ホース用LEDライトの取付けと電池交換

### 警告

- 電池の⊕ ⊖ 極を正しく入れてください。
  - 新旧電池やメーカーの違う電池を混ぜて使用しないでください。
  - 子供(乳幼児)の手が届かない所で扱ってください。  
万一電池を飲み込んだ場合は直ちに医師の診察を受けてください。  
医師の診察を受けるまではできるかぎり何も飲んだり食べたりせず、可能であれば電池パッケージなど種類がわかる物を持参してください。
- そのほかにも、P.7の電池の注意事項も併せてお読みください。

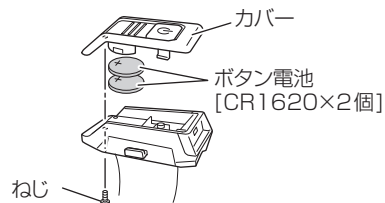
### 取付け

ストラップをホースに巻き付けて、フックで留めてください。



### 電池交換

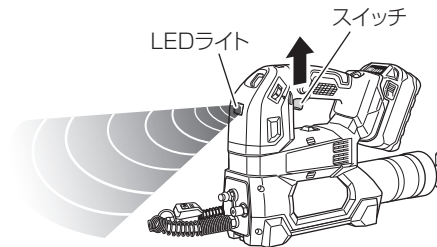
ねじとカバーをはずし、交換してください。



## 警告シグナルについて

本製品は作業中に保護機能が作動すると、スイッチを引いている間、LEDライトが点滅してお知らせします。

保護機能が作動したときは、直ちにスイッチから指をはなし、対処方法に従ってください。



保護機能	LEDライトの表示	対処方法
過負荷保護	0.5秒点灯 / 0.5秒消灯 ■ ■ ■ ■	蓄電池を取りはずして、過負荷の原因を取り除いてください。 その後、蓄電池を取付けてスイッチを引くと作動します。
低電圧保護		電池残量が少なくなっています。 蓄電池を充電してください。

- 注**
- 過負荷の原因を取り除かずに3回スイッチONを繰り返すと、1分間使用できなくなります。  
1分経過後後にLEDライトが消灯する、または蓄電池を取りはずして付け直すと通常通り使用することができますが、速やかに過負荷の原因を取り除いてから再稼働してください。
  - 使用環境温度、グリースの種類や状態により保護機能の作動タイミングが異なることがあります。

## グリースの補充方法

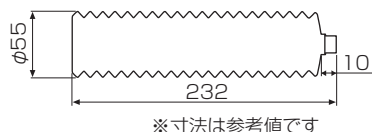
### 警告

火気の近くでは、グリースの補充をしないでください。

- 注** • 下記のような場合は、機体内の古いグリースを除去してから使用してください。  
(P.21「機体内の空気の抜き方」参照)
- はじめて使用するとき
  - 前回使用したグリースと違う種類のグリースを使用するとき
- グリースの補充時に、砂やごみなどが付着・混入しないようにしてください。

### ● カートリッジ式を取付ける

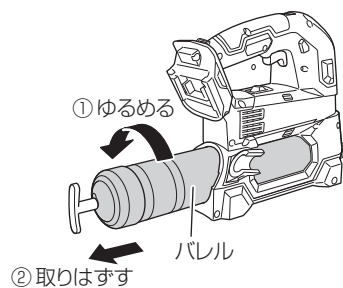
本製品は、ジャバラタイプ 400 g(420 mL)のみが使用できます。



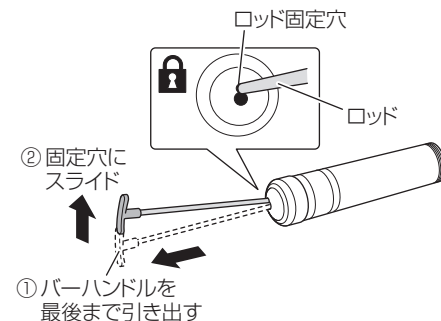
### 注意

記載以外のカートリッジを使用しないでください。  
機体もしくはカートリッジが破損する恐れがあります。

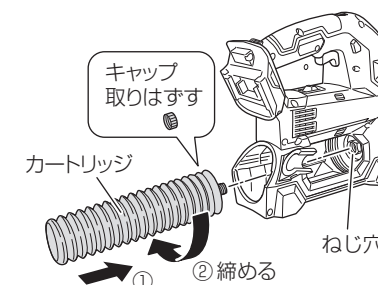
- 1** バレルを回してゆるめ、機体から取りはずします。



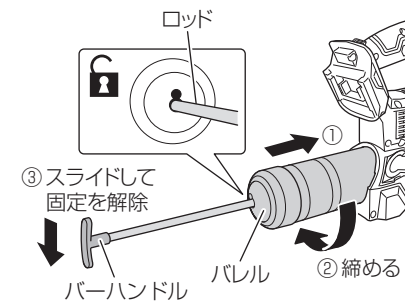
- 2** バーハンドルを最後まで引き出し、ロッド固定穴にスライドさせてロッドを固定します。



- 3** カートリッジのキャップを取りはずし、機体のねじ穴に取付けます。



- 4** バレルを機体に取り付けます。

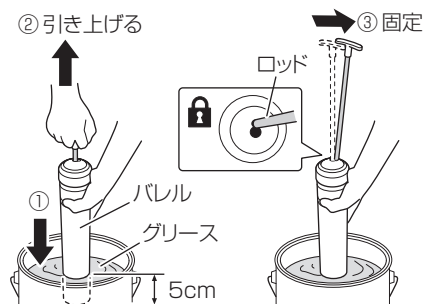


- 5** バーハンドルを引き、ロッド固定穴からスライドして、ロッドの固定を解除します。

## ● バレルへ直接補充する

**1** バレルを取りはずします。  
(P.17「カートリッジ式を取付ける」  
**1** 参照)

**2** グリースの中に、5 cm ほどバレルの先端を真っ直ぐ入れます。そのままゆっくりロッドを引き上げ、固定穴にスライドさせてロッドを固定します。



### 補充のコツ

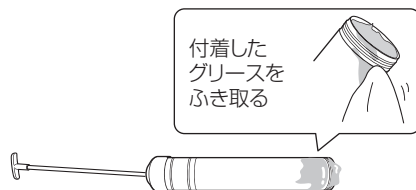
バレルの口元まで補充すると、機体に取り付けたときに空気の混入を最小限に抑えられ、空気抜きが容易になります。

**3** バレルの周りに付着したグリースをふき取ります。

**4** バレルを機体に取り付けます。  
(P.18「カートリッジ式を取付ける」  
**4** 参照)

**5** ロッドの固定を解除します。  
(P.18「カートリッジ式を取付ける」  
**5** 参照)

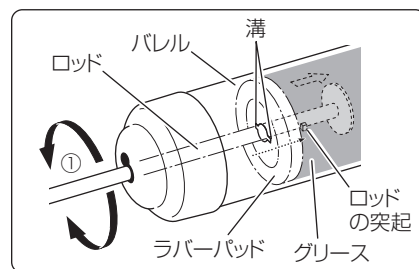
付着したグリースをふき取る



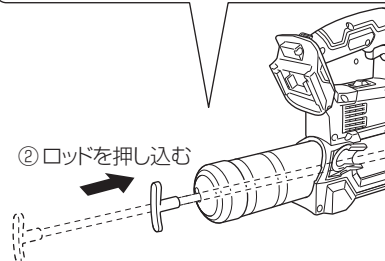
### 作業中ロッドを短くしたいときは…

ロッドを回転させ、ロッドの突起をラバーパッドの溝位置に合わせると、ロッドを押し込むことができます。

**注** カートリッジ式使用時は、ロッドを押し込むことができません。



② ロッドを押し込む



## ● ポンプ (市販品) を使って補充する

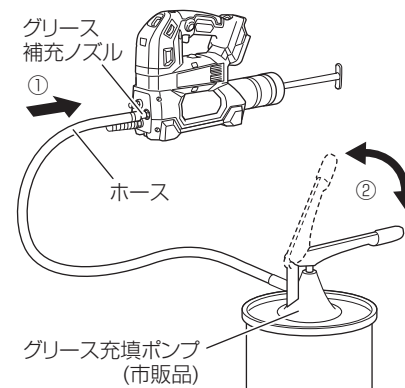
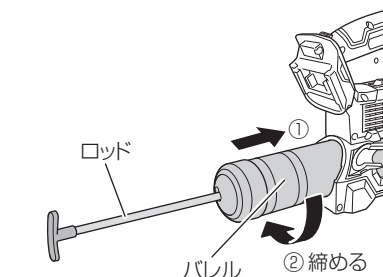
**1** バレルを取りはずします。  
(P.17「カートリッジ式を取付ける」  
**1** 参照)

**2** ロッドを固定します。  
(P.17「カートリッジ式を取付ける」  
**2** 参照)

**3** バレルを機体に取り付けます。  
ロッドを伸ばしたまま、機体にバレルを取付けてください。

**4** グリース補充ノズルにホースを取付け、ポンプ (市販品) でグリースをバレルに補充します。

**5** ロッドの固定を解除します。  
(P.18「カートリッジ式を取付ける」  
**5** 参照)



### 作業中ロッドを短くしたいときは…

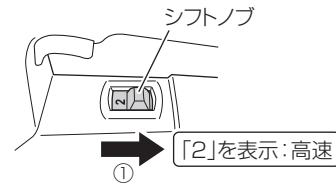
ロッドは P.19「バレルへ直接補充する」と同様に、ロッドを押し込むことができます。

## 機体内の空気の抜き方

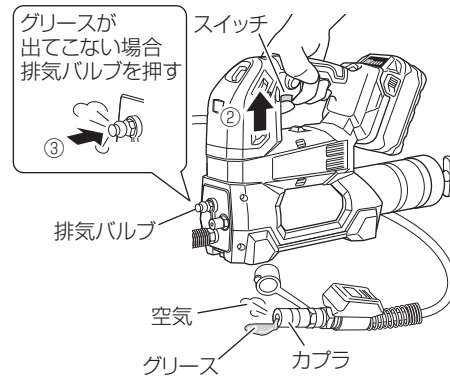
グリース補充時などに、バレルやホース内に空気が混入します。空気を抜いてから使用してください。また、新しいグリース補充後は空気を抜きながら、ホースに残った古いグリースを受け皿やウエスの上へ押し出して取り除いてください。

- 注**
- 本製品は、出荷前テスト時のグリースが機体に少量残っています。初回のグリース補充時に、押し出して取り除いてください。
  - 種類の異なるグリースを補充した場合は、先のグリースを押し出してから使用してください。

**1** シフトノブを「2」(高速)にします。



**2** スイッチを引くと、機体内の空気がグリースと一緒にカブラから押し出されます。新しいグリースが出てきたら完了です。

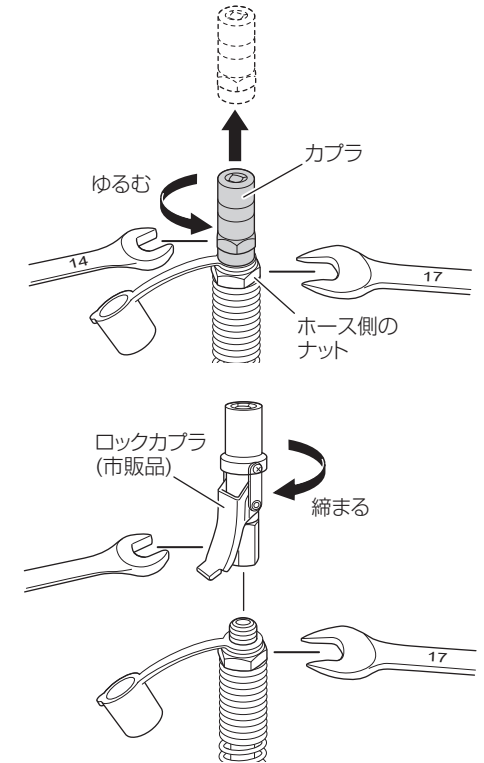


**3** 混入した空気量が多くグリースが出てこない場合は、スイッチを引きながら排気バルブを押して空気を抜いてください。

- 注** カートリッジ式を使用する場合、カートリッジの底を軽く押して、グリースを先端から数ミリ出して取付けると、空気抜きが容易になります。

## ロックカブラ (市販品) の使い方

お手持ちの工具を使用し、カブラをホースからゆるめて取りはずします。そこに、ロックカブラを確実に締め込んで取付けます。





# グリースを充てんする

●重機などの機体へのグリース充てん

## ⚠警告

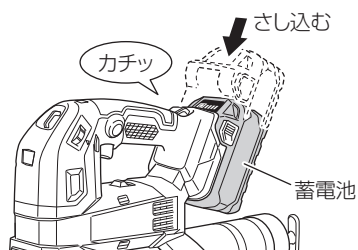
- 火気の近くでは、グリースの充てんをしないでください。
- 作業中、ホースが折れたりよじれないようにしてください。

## ⚠注意

使用前に、グリースの取扱い説明書も併せて確認いただき、正しい使用方法で作業をしてください。

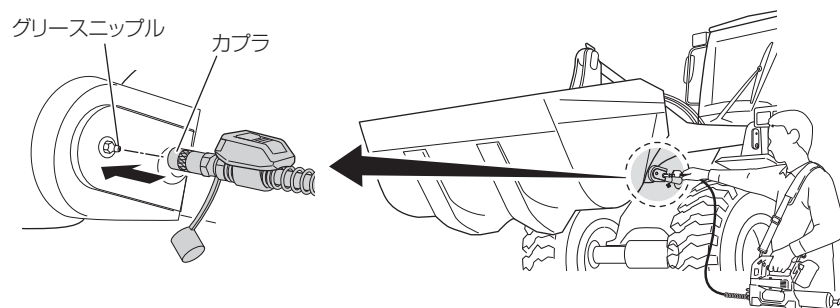
## 1 蓄電池を取付ける

「カチッ」と音がするまで、確実にさし込んでください。



## 2 カプラを重機などのグリースニップルに接続する

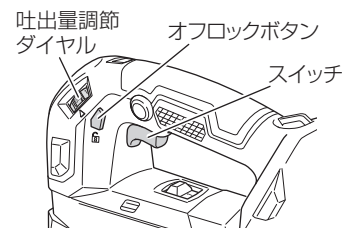
カプラをグリースニップルに真っ直ぐさし込んでください。



- 注**
- カプラがうまく接続しない場合は、カプラとグリースニップルをウエスできれいにふいて、再度接続してください。
  - 機体内の空気を抜き終わってから接続してください。

## 3 グリースを充てんする

吐出量を調節して(P.14「吐出量調節ダイヤルについて」参照)スイッチを引き、グリースを充てんします。

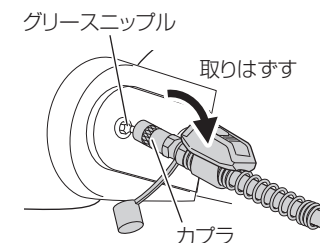


充てん部から古いグリースと、新しいグリースが出てきたら、充てん完了です。

- 注**
- スイッチを引いてもグリースが出てこない場合は、機体内に空気が残っている可能性があります。機体内の空気を抜いてください。(P.21「機体内の空気の抜き方」参照)
  - 新しいグリースを補充したときは、新しいグリースでホース内に残っている古いグリースを押し出してから充てんを開始してください。(P.21「機体内の空気の抜き方」参照)

## 4 カプラを取りはずす

カプラを取りはずす際は少し傾けて、内圧を放出してからゆっくりはずしてください。グリースニップルとカプラに付着したグリースを、きれいに取り除いてください。



- 注**
- 無理な力で抜こうとすると、カプラとグリースニップルが破損する恐れがあります。

# 保守・点検

## ● 機体の点検

各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。  
ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。  
異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

## ● モーターの取扱いについて

モーター（内蔵）（P.9「各部の名称」参照）に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

## ● 端子部の点検

工具本体や蓄電池の端子部に切りくず、ほこりがたまっていないか点検してください。  
作業前、作業後のほかに作業中でも時々点検してください。

## ● グリースの除去

使用後は、バレルの内部および外側の汚れをきれいにふいてください。  
長期使用しない場合は、バレルからグリースを抜いて保管してください。

## ● 清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。  
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

## ● 機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- お子様の手が届く場所、持ち出せる場所
- 軒先など雨が降りかかる場所、湿気がある場所
- 温度が急変する場所、直射日光が当たる場所
- 引火や爆発の恐れがある揮発性物質が置いてある場所

## ● リチウムイオン電池の輸送について

リチウムイオン電池を輸送する場合、次の点に注意してください。

### ⚠ 警告

輸送会社にリチウムイオン電池を含む荷物であること、および電力量を伝えて、輸送会社の指示に基づいた手続きを行ってください。

- 電力量が100 Whを超えるリチウムイオン電池の場合は、輸送貨物の分類上、危険物扱いとなり、特別な申請等が必要になります。
- 海外へ輸送する場合、国際法令および輸送先国の規制に従う必要があります。

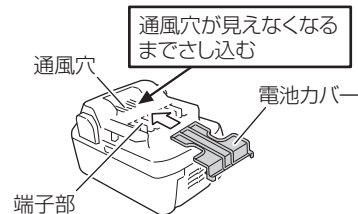


## ● リチウムイオン電池の保管について

### ⚠ 警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡（ショート）して発熱・発煙・発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を守ってください。

- 収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
- 短絡（ショート）するのを防ぐため、蓄電池は工具本体にさし込むか、電池力カバーを取付けて保管してください。



**注** リチウムイオン電池を保管するときは、半分程度の容量で保管してください。  
蓄電池の残量が少ない状態で長期間（3か月以上）保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなる、または充電できなくなる恐れがあります。  
充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命とご判断いただき、新しい蓄電池をお買い求めください。